



■飲酒運転の禁止——乗るなら飲むな 飲んだら乗るな

「乗るなら飲むな、飲んだら乗るな」という標語はあまりにも有名です。そして交通違反のなかでも、飲酒による違反はこのほか罰則が重く、社会的にも許されるべき行為でないことはドライバーならだれでも知っていることでしょう。

ところが、相変わらず後を絶たないのが、飲酒運転による交通事故です。どんなに酒に強い人でも、酒と車の運転は両立しない関係にあることを忘れないでください。

アルコールが身体機能にどのような影響を与えるか——飲酒運転の危険性をよく知って「乗るなら飲まない、ことをさらに徹底遵守する」心がけましょう。

酒酔い運転と道路交通法



道路交通法では、第六十五条第一項に酒気帯び運転の禁止を規定しており、また、第二項では、酒気帯び運転をする恐れがある者に対し、酒類を提供したり、または飲酒をすすめてはならないとしています。

第一項に違反して酒に酔った状態で車を運転した場合は、二年以下の懲役または五万円以下の罰金。または身体に保有するアルコールの量が、血液一ミリリットルにつき〇・五ミリグラム以上、または呼気一リットルにつき、〇・二五ミリグラム以上（道路交通法施行令第四四条の三）であるときは、三月以下の懲役または三万円以下の罰金に処する」という規定が設けられています。

〔注〕アルコールの量が血液一ミリリットルにつき〇・

酒が及ぼす影響

——気がつかぬうちに
自制心や判断力が鈍る

酒に酔った状態というのと、どんな状態を想像しますか。足元がふらつく、目がすわる……。

実は、こうなる前に、すでにアルコールは自制心や判断力に悪影響を与えているのです。

見た目には酔ったように見えなくても、自制心や判断力はかなり鈍くなっている。にもかかわらず、自分では気づかない——ここにアルコールの「危

飲酒運転の 「恐ろしさ」

ドライバーの「落とし穴」

険な落とし穴」があるのです。

その結果、アルコールが入ると、かつて知覚作用や運転技能が平常よりも良くなったと感じ、危険な追い越しなどを平気でするようになってしまいます。

こうして自分勝手に、酒一合までなら……ビール一本ぐらいなら……といった考えで運転していて、ついには大事故を起こしてしまう、というケースもよくあります。

飲酒運転時の機能障害

——目がよく見えなくなったり
平衡感覚が低下する

アルコールによる影響は目にも現れます。視力が落ちるほか、視野も狭く

なるのです。車の運転に必要な「目からの情報」が少なくなるのですから、危険なのは言うまでもありません。

また、運動筋肉をコントロールする神経が侵されると、刺激に対する反応などが鈍くなります。

例えば信号が「赤」なのを確認してからブレーキを踏むまで、ふだんは一秒足らずなのが、飲酒時では、反応が遅れて二秒かかったとします。時速四十キロとしますと、その「一秒」の差は距離にして十一メートル。それだけ、事故の危険性は高まります。

こうしたアルコールによる障害をまとめると次のようになります。
①視力障害、特に動いているものを見る動体視力に障害が起こる。また視野が狭くなり、一点を中心に周りが

見えなくなる、いわゆる「トンネル視」の状態になる。

②下肢運動神経の機能が低下し、ブレーキの遅れ、アクセル、クラッチなどの操作が乱暴になる。

③集中力が鈍り、身体平衡感覚や握力が低下し、疲労感が高まる。

「自分は酒に強い。一合ぐらいなら運転しても平気」というのは大きな誤りです。ちよつとでも酒を飲めば、自制心が失われ、運動機能や知覚機能が鈍くなるのです。

ひとたび事故を起こすと、死亡事故につながりやすい飲酒運転。酒の強い弱いにかかわらず危険であることを肝に銘じて、「乗るなら飲むな、飲んだら乗るな」を実践しましょう。



胸に“光る” 交通安全緑十字銅章

このほど岩室村交通安全協会和納支部長の竹内勝衛さん（和納6区・54歳）が、全日本交通安全協会・交通栄誉緑十字銅章を受賞されました。

竹内さんは昭和36年から23年間、地区安協役員として交通安全運動のため活躍され、その功績が認められ緑十字章を受賞されたもの。村内では、大岩要さん（和納3区）、小林千里さん（橋本）に次ぐ3人目です。竹内さんはこのほかにも昭和50年から設置された、村の交通指導員として6年間務められ、その功労により57年、交通安全対策協議会長（県知事）表彰や村政功労者表彰などを受けています。



農業祭と街頭広報

先月十八日、村交通安全協会が農業祭でにぎわう村民体育館前で、街頭広報を行いました。街頭での呼びかけには、和納駐在所や村交通指導員、地区交通安全協会役員らが参加。農業祭に訪れる人たちに「安全運転をお願いします」「事故には気がつけて」とパンフレットや反射材の入った交通安全袋を配布。交通安全を呼びかけました。